

知床国立公園 公園区域及び公園計画の変更について

参考資料 3 - 3

1. 背景

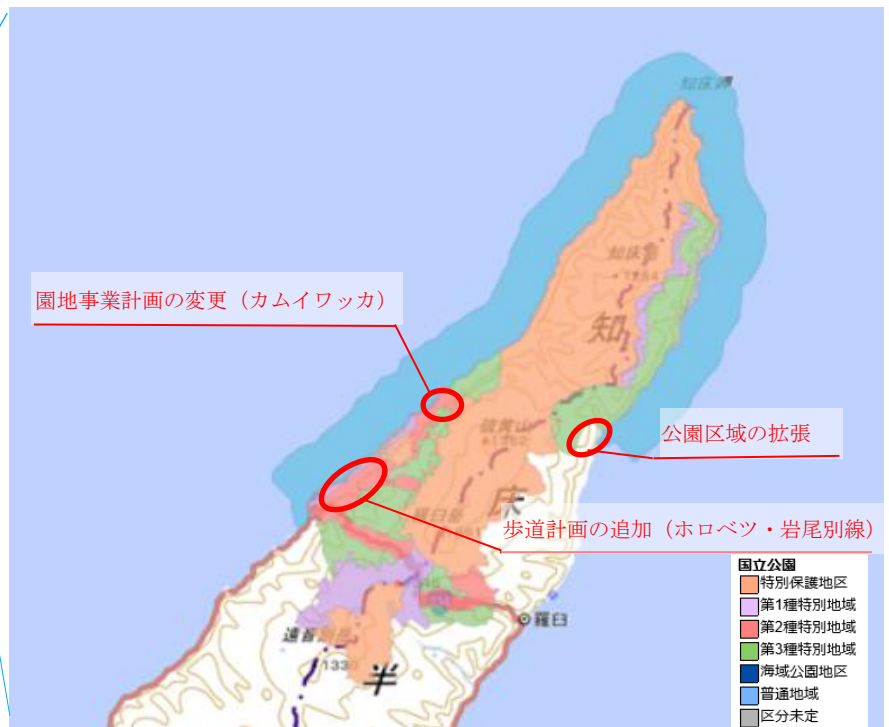
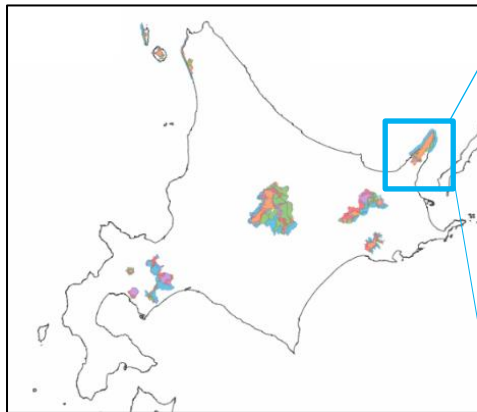
知床国立公園は、知床半島の一部及びその沖合の海域からなり、北半球で最も低緯度に位置する季節海氷域、火山活動と海食により形づくられた急峻な山々と海食崖、高山帯から海岸部まで連続する多様で自然性の高い植生、多様な湿原・湖沼群、ヒグマ等の大型ほ乳類、海ワシ類や海鳥類、アザラシ類、鯨類等の海棲ほ乳類やサケ科魚類といった生物相など多様な自然景観の要素が原生的な状態で維持されており、多様で優れた自然美を有していることが特徴です。

本公園は昭和39年6月1日に指定され、昭和59年6月15日には公園区域及び公園計画の全般的な見直しを実施、平成7年2月21日に第1次点検を実施しています。

今回の第2次点検では、第1次点検以降における本地域を取り巻く社会情勢変化や国立・国定公園総点検事業の結果を踏まえ、必要な変更を行うものです。

知床国立公園

※今回の主な変更箇所：赤字



2. 変更のポイント

キキリベツ川及びシヨウジ川の下流一帯を含む地域を公園区域に編入します。

3. 変更の詳細

- ・ 公園区域の拡張
 - 北海道目梨郡羅臼町の一部（第1種特別地域） 318ha
- ・ 保護規制計画の変更
 - 第1種特別地域の拡張 326ha
（第3種特別地域→第1種特別地域への振替 8ha を含む）
- ・ 道路（歩道）
 - 変更：ホロボツ・岩尾別線